

公益社団法人日本ライフル射撃協会

2025年社員総会議事録

日時：2025年6月14日（土）13:05～14:20

場所：ナショナルトレーニングセンターイースト会議室A・B・C

議長：松丸喜一郎会長

出席者

正会員71名中69名出席（出席率93.0%）

対面出席27名、書面出席42名（委任状提出23名、書面決議19名）

対面出席者：松丸喜一郎、田村恒彦、大野明敏、三木容子、平井宏治、佐橋朋木、成山悟史、
松島愛、寺澤良悦、高橋信吾、仲本渚、岸高清、永谷喜一郎、高橋祥光、五十嵐嘉也、
谷津義男、岡田榮三、田中僚一郎、岡本盛幸、廣田眞作、武川正一、甲斐伸一、高柳喜人、
渡辺雄児、五十嵐治人、栗生由紀、金山典生

出席理事・監事：代表理事4名、理事17名、監事2名出席

議事録署名人：渡辺雄児氏、栗生由紀氏

JOC エリートアカデミー生紹介

阿部暁梨沙（山形県・高校3年）、川村悠夏（高知県・高校2年）、佐藤美優（宮城県・高校1年）、高橋悠里（岐阜県・高校1年）の4名が紹介された。なお、佐藤選手と高橋選手は学校行事のため欠席した。

ミズノスポーツ振興財団助成金贈呈式

藁澤智之事務局長から松丸会長に対し、ジュニア育成に関する2025年度助成金300万円の目録が贈呈された。

会長表彰

会長特別表彰として、水田美夏氏（日本パラ射撃連盟所属）、大川正視氏（北海道ライフル射撃協会所属）、田村恒彦氏（京都府ライフル射撃協会所属）、岸高清氏（千葉県ライフル射撃協会所属）、大野明敏氏（埼玉県ライフル射撃協会所属）の5名が受賞した。また、年間活動賞として岡田直也氏（選手強化委員会推薦）、野畑美咲氏（選手強化委員会推薦）の2名が受賞した。

開会・定足数確認

13時05分、平専務理事により開会が宣言され、定款第20条に基づく定足数3分の2以上を満たしていることが確認された。

会長挨拶

松丸会長から2024年度の成果について報告が行われた。また、射撃スポーツの普及発展と組織運営の更なる充実に向けて、会員各位の継続的な協力と支援に対する感謝が表明された。さらに、新たな役員体制のもと、より一層の発展を期する旨の挨拶が行われた。

審議事項

第1号議案 正会員の承認の件

説明者： 平専務理事

説明内容：青森県、福井県、兵庫県、大分県、自衛隊体育学校、パラ射撃連盟から正会員の変更申請があった。それぞれについて新旧の正会員が交代することとなった。また、中央競技団体選出正会員について資料の訂正があり、松丸喜一郎氏、田村恒彦氏の両名が追加された結果、中央競技団体正会員16名、加盟団体正会員54名、合計70名の正会員構成となることが説明された。

審議結果： 議長が諮り、訂正された案のとおり承認された。

第2号議案 2024年度事業報告承認の件

説明者： 平専務理事

説明内容：6つの活動を柱とした2024年度事業について報告が行われた。パリオリンピックへの3名の選手派遣、ガバナンスコード適合認定の取得、会員登録システムのデジタル化推進等の成果が説明された。また、アスリート育成支援、ライフルスポーツ普及、社会貢献、経済的自立、加盟団体連携、国際交流促進の各分野における具体的な取り組み実績が詳細に報告された。

審議結果： 議長が諮り、案のとおり承認された。

第3号議案 2024年度収支決算書承認の件

説明者： 平専務理事

説明内容：事業活動収入2億3,300万円、支出2億1,390万円で、当初の赤字予算から大幅に改善し、プラス1,915万6千円となった。続いて、岸高監事から監査報告が行われ、決算内容が適切かつ正確に記載されていることが確認された旨が報告された。

審議結果： 議長が諮り、案のとおり承認された。

第4号議案 会員規程の一部改定の件

説明者： 平専務理事

説明内容：会員規程第5条の学生定義に関する改定について説明が行われた。専修学校の学生を明確に含めるため、「または本協会が個別に検討し学校教育法第1条記載の学校に準ずると判断した学校」との文言を追加する改定案が示された。これまで運用により対応していた専修学校学生の取り扱いを規定として明文化することが説明された。

審議結果： 議長が諮り、案のとおり承認された。

第5号議案 理事・監事選任の件

説明者： 松丸会長

説明内容：役員選考委員会での検討結果として、新役員候補者が提案された。三木容子氏、平井宏治

氏については、ガバナンスコードの在任期間上限を超えるが、組織運営上継続が不可欠であるとして例外規定を適用することが説明された。理事26名、監事2名の候補者について、1名ずつ氏名を読み上げて承認を求めた。

審議結果： 議長が候補者の氏名を1名ずつ読み上げて諮り、案のとおり承認された。

第6号議案 役員報酬の件

説明者： 松丸会長

報告内容：常勤役員に対する報酬支払いを予定し、その上限総額を400万円とすることが提案された。支給対象者と具体的な額については、新会長のもとでの臨時理事会において決定されることが説明された。役員報酬規程に基づき、総会決議による総額の範囲内で理事会の承認により決定する仕組みが確認された。

審議結果： 議長が諮り、案のとおり承認された。

報告事項

1. 2025年度事業計画について

報告者： 平専務理事

報告内容：定款第4条の目的に沿った6つの柱による事業計画が報告された。2月15日開催の理事会で承認済みの内容について、主催競技会計画、会議日程、国際大会日程等が説明された。加盟団体との協力連携のもとで事業展開を図る方針が示された。

質疑応答：

廣田正会員（神奈川県）： 大口径射撃競技において赤字が続いている。標的代やホテル代の上昇により経費が増加している。補助金を10万円増額していただきたい。

松丸会長： 物価上昇については理解している。競技運営委員会において他のG1大会についても精査した上で、現行の補助金額20万円に対して10万円を上乗せし、30万円とすることを検討したい。

五十嵐正会員（宮城県）： 補助金の支給要件はどのような形になるのか。赤字になった場合に支給するのか、赤字でなかった場合は支給しないのか、最初から補助金として支給するのか、その点を明確にしていきたい。

松丸会長： 競技運営委員会において検討する。

三木常務理事： 赤字補填ではなく、事前に補助金として支給する方向で検討する。

2. 2025年度補正収支予算について

報告者： 平専務理事

報告内容：JSC助成金確定により、5月24日理事会で補正予算を編成したことが報告された。事業活動収入1億9,700万円弱、支出2億490万円弱で、収支差額マイナス780万円弱となった。当初予算の赤字1,000万円から改善された内容が説明された。

3. その他

2024年度会員状況

報告者： 藤井彌事務局長

報告内容：2024年度会員総数は6,866名で前年比20名減となった。大学生は1,196名で前年比約70名の増加となった。また、高校生2,673名、中学・小学生354名の状況が報告された。

その他質疑応答

五十嵐正会員（宮城県）： 射撃場指定管理者としての運営が厳しい状況にある。日本ライフル射撃協会として射撃場維持への支援を検討していただきたい。

松丸会長： 全都道府県への補填は困難である。会員増加策の提案をいただき、限られた予算内で実施したい。

廣田正会員（神奈川県）： 射場使用料だけでは運営が不可能な状況である。G1全日本大会の補助金20万では足りない、増額を検討して欲しい。

松丸会長： 諸物価高騰の状況は理解できるので、G1全日本大会の主管から提出されている収支報告を確認して増額を検討する。

廣田正会員（神奈川） 銃砲所持許可調査が厳格化され、10人への40項目の質問など負担が増大している。

橋本理事： 安全保障上の観点から調査が厳格化されている。射撃競技の位置づけについて議員連盟において検討していく。

退任挨拶

松丸会長から、22年間の理事、17年間の専務理事・会長として協会運営に携わることができたことへの感謝の意が表明された。空気銃の威力研究やアジア競技大会、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、充実した協会との歩みについて振り返り、会員の支えに対する深い感謝が述べられた。

閉会

14時20分、全議事終了により閉会が宣言された。

2025年6月14日

議事録署名人

議長（代表理事） 松丸喜一郎

松丸喜一郎印

署名人（正会員） 渡辺雄児

渡辺雄児印

署名人（正会員） 栗生由紀

栗生由紀印

渡辺雄児印

渡辺雄児印

栗生由紀印